

まなびあテラスの概要

集い、学び、創造する 情報と芸術文化の交流拠点

東根市教育委員会
生涯学習課文化振興係

ひがしね

山形県東根市

■ 概要 (1)

- 人口47,554人(R 6.5.31現在)
- 一般会計予算規模261億円(R 6当初)

東根市の位置



市内中心部



■ 東根市 P F I 事業 事例紹介

① 消防庁舎 (H19.4)



② 学校給食センター (H20.4)



③ 大森小学校 (H23.4)



④ 公益文化施設 (H28.11)
『まなびあテラス』



山形県東根市

■ 概要 (2)



さくらんぼ生産量日本一
さくらんぼの王様『佐藤錦』発祥の地
さくらんぼにこだわったまちづくり



日本一の大ケヤキ (特別天然記念物)
樹齢1500年余り、根廻り24m

概要

- (1) 整備期間 平成27年6月～平成28年10月
- (2) 供用開始 平成28年11月 開館 平成28年11月3日
来館者数 令和6年3月末 1,975,980人
- (3) 敷地面積 22,492m²(都市公園 9,703m²を含む)
- (4) 施設規模
建築面積 4,381.27m² (附属建物除く)
延床面積 4,401.18m²(1F 4,262.28m²、2F 138.90m²)
- (5) 構造 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 2階建て
- (6) 付帯施設 施設駐車場147台、
公園駐車場10台、駐輪場100台など
- (7) 都市公園 交流広場、読書広場、芝生広場
- (8) 整備手法 PFI方式(BTO方式)
- (9) 事業者 株式会社メディアゲートひがしね
- (10) 事業費 6,554,837,700円
(入札時) うち、施設整備費相当分 3,452,414,749円

公益文化施設 体系図

【図書館】

- ・蔵書数20万冊
R6.3月末 約18万冊
(開架10万冊、閉架10万冊)
- ・ティーンズに重点
- ・電子書籍

【美術館】

- ・市民ギャラリー(約400㎡)、
特別展示室(約200㎡)、アトリエ
- ・発表、鑑賞、創作の場
- ・光や映像、音楽作品にも対応

【カフェ】

- ・魅力ある空間

【市民活動支援センター】

- ・団体活動の情報拠点

【都市公園】

- ・潤いの空間

PFI方式により事業を実施し、運営・施設整備の創意工夫を期待

■ PFI (Private Finance Initiative) とは

- 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法
- 民間資金等の活力による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）に基づき実施

< PFI の推進により期待される効果 >

民間の活力を公共施設の整備・管理等に活かして、
低コストで質の高い行政サービスを実現

« PFI 事業（サービス購入型）では »

- ① 民間が公共サービスを提供⇒公共はこのサービスを購入する。
- ② 民間事業者は、契約で定められた水準のサービスを提供するが、サービス水準の達成方法は自由（仕様発注 → 性能発注）

■ PFIのメリット・デメリット

1. メリット

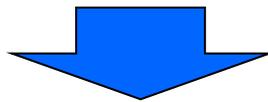
- ① 運営企業、維持管理企業が設計段階から参画できるため、効果的・効率的な運営や維持管理を考慮した施設づくりが可能となる。
- ② 要求内容以上のものが事業者から提案されるため、サービスの向上が期待できる。
- ③ 性能発注のため、構造や材料、維持管理の方法など自由設計から運営までトータルでの契約のため、コストダウンの可能性が高い。
- ④ 民間の経営能力、技術的能力を有効活用できる。

2. デメリット

- ① 契約までの事務手続きが煩雑で時間と労力がかかり、専門的な担当部署・人員を確保しないと対応が難しい。
- ② 設計などについて具体的なプラン(仕様)を持っている場合には向かない。

導入経緯

- 平成13年 第三次東根市総合計画
総合文化・学習施設の建設
(区画整理事業地内に用地を確保)
- 平成23年 第四次東根市総合計画
公益文化施設整備プロジェクト
「教養・学びの空間」 「憩いの空間」
- ◆ 平成24年5月 公益文化施設整備市民検討委員会発足
委員22名 計11回検討
- 平成25年2月 公益文化施設整備基本構想・基本計画策定



平成25年2月 PFI基本方針策定・導入可能性調査実施
// 5月 導入可能性調査実施結果 ⇒ 導入決定

整備時の役割分担

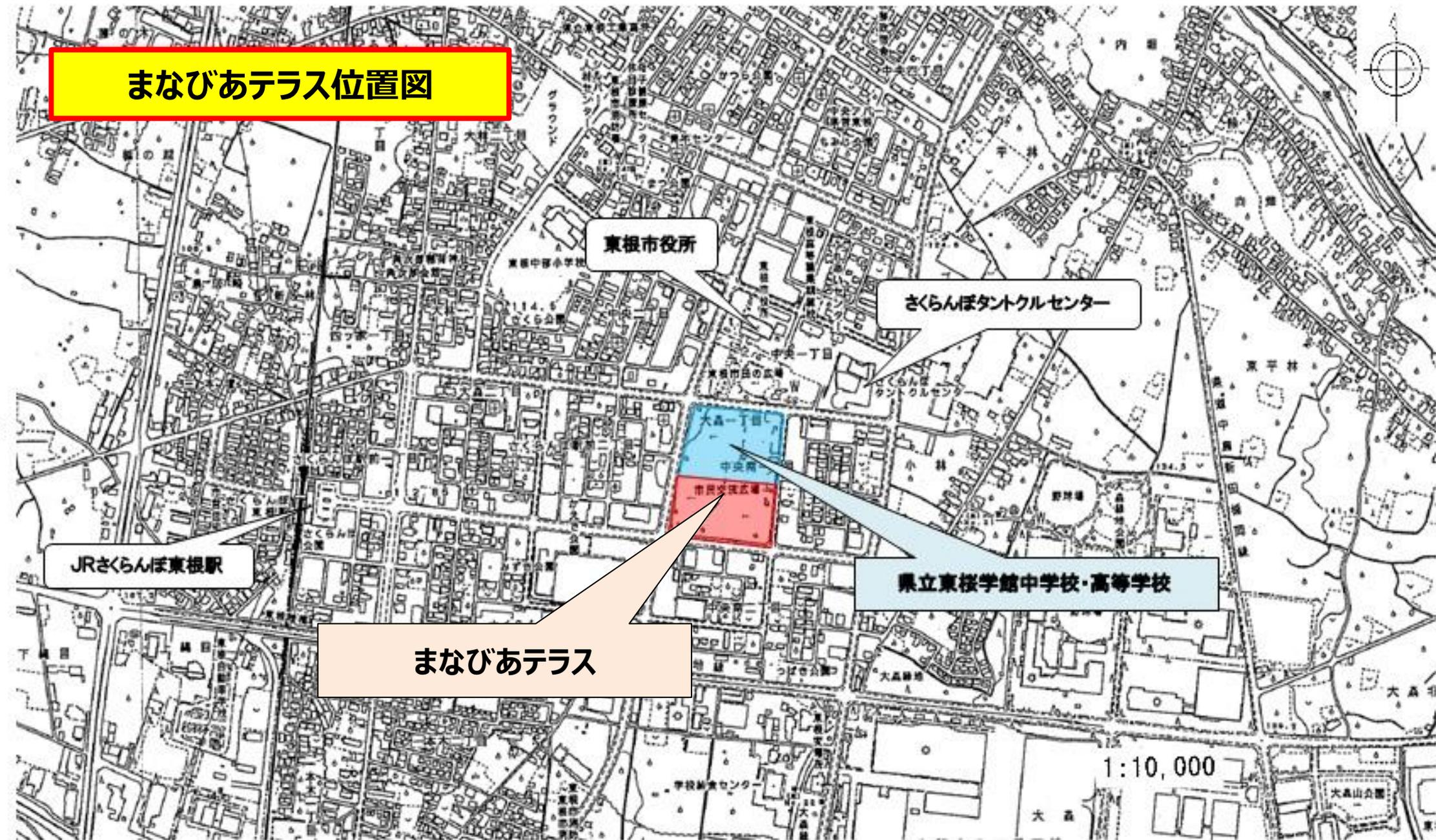
- PFI事業での実施を念頭に置いた公益文化施設整備のためにプロジェクト推進課を設置
→プロジェクト推進課がすべての業務を担当
基本構想・計画の策定、検討会議の開催、契約関連等
- 生涯学習課
当時の図書館部門での検討参加
プロジェクト推進課解体後、プロジェクト推進係を設置し業務を引き継ぐ
- 建設課
都市公園部門での検討参加

事業スケジュール

■ 経過

NO.	項目	年月日	備考
1	PFI基本方針決定	H25. 2.12	庁議にて決定
2	PFI導入可能性調査	H25. 2.28 - H25.5.31	
3	実施方針公表	H25. 9.27	説明会48社、101名参加 実施方針、要求水準書(案)
4	特定事業の選定・公表	H25.12. 6	
5	債務負担行為議会議決	H25.12.18 (12月定例会)	H48までの設計・建設・維持管理・運営費
6	入札公告（公表）	H26. 1.14	入札説明書、要求水準書、契約書（案）
7	入札説明会	H26. 1.17	33社、64名参加
8	入札参加資格の確認	H26. 4.25	
9	入札（総合評価一般競争入札）	H26. 5.23	5グループ
10	落札者決定	H26. 6.18	
11	基本協定	H26. 7. 4	
12	事業契約締結（仮契約）	H26. 8.18	
13	事業契約の議決	H26. 9.24 (9月定例会)	
14	設計建設期間（約2年）	H26. 9.24 - H28.10.31	
15	維持管理運営期間（20年）	H28.11. 1 - R18.10.31	H28.11.3オープン

まなびあテラス位置図





まなびあテラス 施設内観



まなびあテラス 施設平面図



《図書館》 ◇図書館の特徴①

コーヒー等を飲みながら本が読める(カフェ併設)
おしゃべりOK!



《ブラウジングコーナー》



図書館内から直接カフェの飲み物が買える↑

《図書館》 ◇図書館の特徴②

自動貸出機、自動返却機、IC予約本受取り棚、電子書籍



ティーンズコーナーの充実

- ・中高生のための独立した空間を整備
- ・ティーンズコーナーの隣に、学習室(40席+10席)を配置



《ティーンズコーナー》



《学習室》



〈児童コーナー〉

- ・喧騒を包み込む
L字型の奥側配置
(おしゃべり
OKな図書館！)
- ・子どもの利用に
合わせた書架
- ・子ども用トイレや
授乳室も完備

〈おはなしの部屋〉

- ・音や光を遮断して使用できる
よう囲まれた部屋
- ・定期的におはなし会を開催

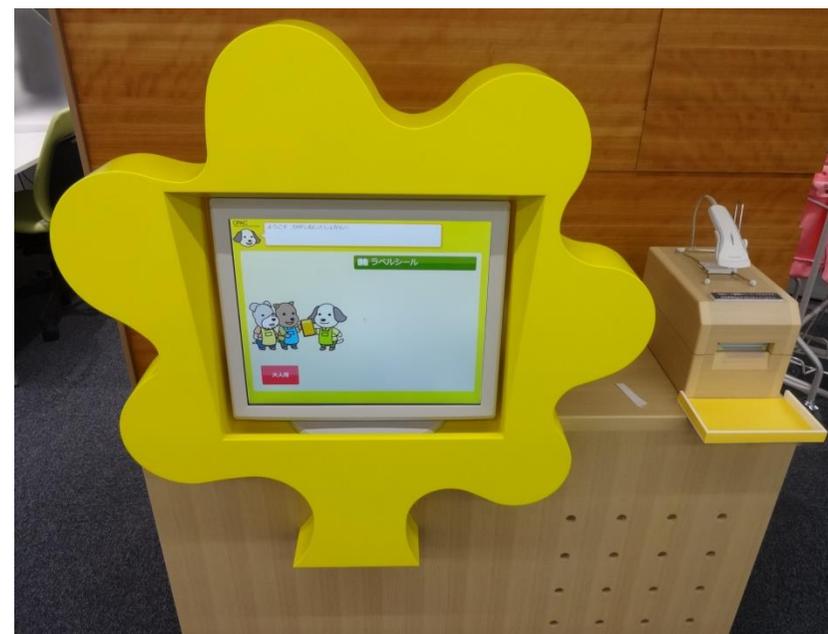


《子ども用トイレ》



◀図書館▶ ◇図書館の特徴⑤

- ・24時間受け取り可能な貸出ボックス
(予約した本を利用者自身が24時間受け取れる
ロッカー型の貸し出しボックス)
- ・開館時間拡大(9:30~20:00 ⇒ 9:00~20:00)
- ・年間の開館日数拡大(約300日 ⇒ 約330日)
- ・読書手帳の設置
⇒本を好きになるような演出
子どもや若者による利用の活発化



・北海道・東北で初となる「IC予約本受取り棚」を設置

→予約した本がどの棚にあるのかを機械が教えてくれる。

⇒最新設備の導入，利用活発化を推進

・電子書籍の導入

(ipad貸出で館内閲覧＋自宅PCでの閲覧)

⇒導入初期は約4,000タイトル

⇒紙と電子のハイブリット図書館

◀ I C 予約棚 ▶



◀電子図書館▶



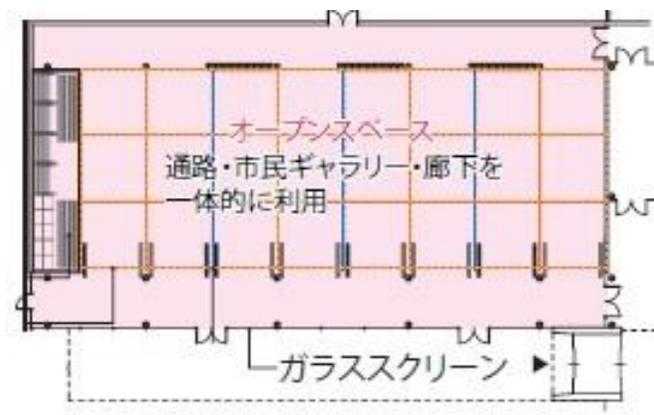
《美術館》

◇特徴① ・市民作品の展示から、一流芸術作品の全国巡回展まで幅広いグレードに対応

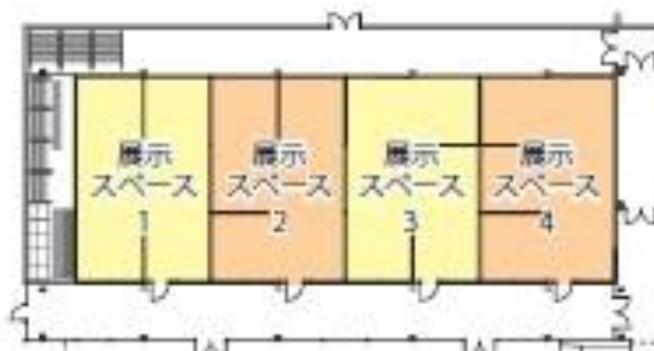
【市民ギャラリー】市民の発表の場



《全体オープンで使用》



《4分割で使用》



《美術館》

【特別展示室】まなびあテラス主催の展覧会会場



《美術館》

◇特徴② ・絵画や彫刻などの**ファインアート**から
空間芸術やデザインなどの**現代アート**まで幅広いジャンルに対応



ファインアート系



現代アート系



《美術館》

- ◇特徴③
- ・アトリエを備え、創作活動の場を提供
 - ・電気窯や電気工作機器などを備えている。



《アトリエ》



《電気窯》

◇特徴④ ・ワークショップなどの市民参加型企画を多数開催



市民参加型のアートプロジェクト H28年度 「PiKAPiKAプロジェクト」



《市民活動支援センター》

- ①情報ステーション・・・ホームページによる情報発信
- ②情報ラウンジ・・・・・・・・・・団体同士の情報交換や交流の場を提供
(情報掲示板、貸しロッカー、メールボックス、交流コーナー)
- ③プリント工房・・・・・・・・・・印刷機、紙折り機、製本機などを配備
- ④講座室・・・・・・・・・・各種講座、研修会などの開催



《交流コーナー》



《講座室》

《都市公園》

- ・公益文化施設と一体化した景観
- ・交流広場、読書広場、芝生広場の3つの広場で構成
- ・図書館や美術館/市民ギャラリーのイベントなどとも絡めた交流の場

《芝生広場》



《読書広場》

《カフェ》

- ・事業者の独立採算業務
- ・カフェの整備により、施設全体の魅力をアップ



- ・地元食材の使用や、イベントに合わせたメニューの提供など連携を図っていく。



運営の特徴

・サポーターズクラブの設立

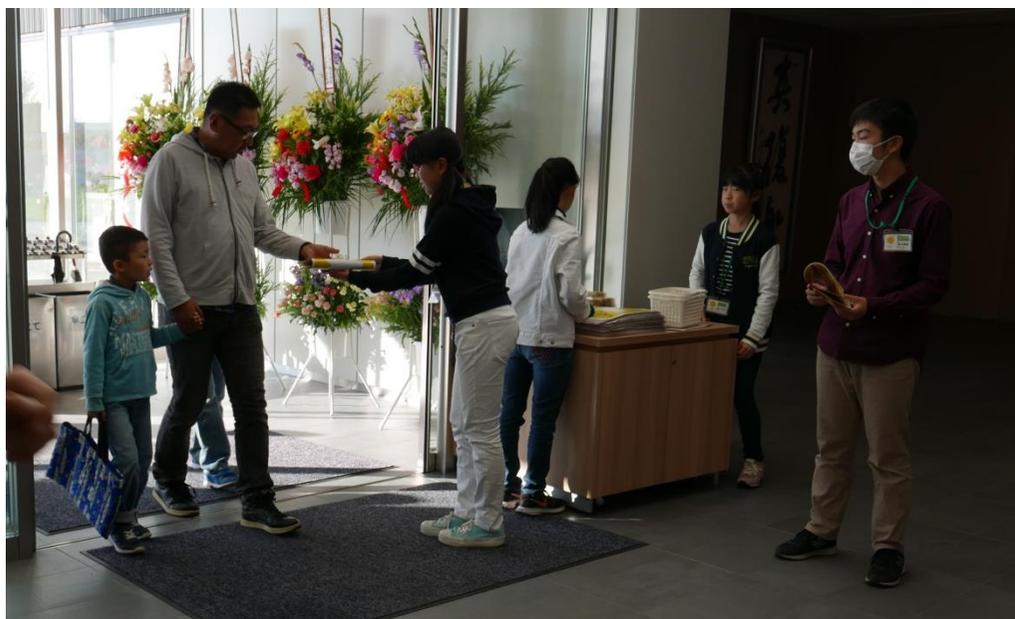
運営への市民参加の取り組みとして、アートプロジェクトへの参加や図書館・美術館での運営補助などで協力

○ジュニアサポーター：小学生対象

○ティーンズサポーター：中高生対象

○一般サポーター

90名が登録(R5年度)



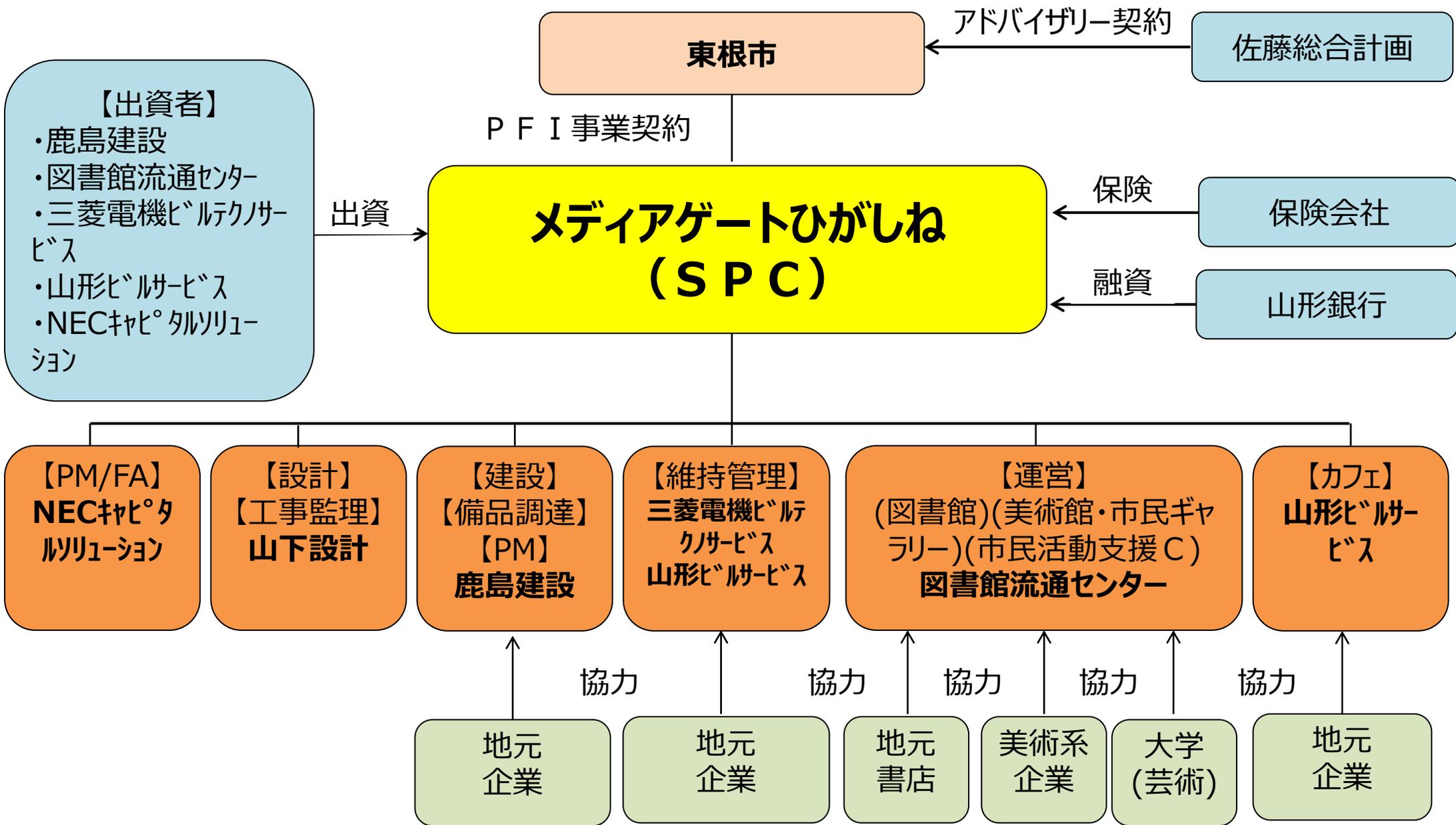
グッズの配布ボランティア



サポーターによる作品解説

PFI事業構成

■ 事業実施体制図 (構成企業と分担)



運営時の役割分担

■ 基本的な運営・維持管理はSPC
→市で企画・直営する部分はなし

■ 生涯学習課【施設管理】
運営・管理に関するサポート
SPCとの契約関係

■ 建設課【公園管理】
都市公園維持管理に関するサポート

月次と四半期ごとに運営・維持管理の報告会を開催
SPC各企業と生涯学習課、建設課が参加し、モニタリング

ようこそ果樹王国ひがしねへ



東根市
HIGASHINE CITY



東根市ゆるキャラ「タントくん」